

各位

会社名 ジェイレックス・コーポレーション株式会社
(コード番号 2995 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 春田 英樹
問合せ先 取締役管理部長 中村 安利
T E L 03-3345-6012
U R L <https://www.j-rex.co.jp/>

(訂正) 『「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について』の
一部訂正について

当社が、2024年9月6日に公表いたしました「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。

1 訂正の理由

「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について」の記載内容の一部に誤りが判明したため、訂正を行うものです。

2 訂正の内容

訂正箇所を下線を引いております。

(1) P.4(1) 当期の経営成績の概況

【訂正前】

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産開発事業

不動産開発事業は、自社開発物件の開発・企画・販売の拡大に努めた結果、売上高は 15,553,221千円 (前事業年度比 0.5%減) となり、また、広告宣伝費の増加によりセグメント利益は 2,392,673千円 (前事業年度比 6.8%増) となりました。

② 不動産関連サービス事業

不動産関連サービス事業は、収益物件の取得等により、売上高は 1,549,892千円 (前事業年度比 33.5%増)、セグメント利益は 754,731千円 (前事業年度比 91.3%増) となりました。

【訂正後】

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産開発事業

不動産開発事業は、自社開発物件の開発・企画・販売の拡大に努めたものの、売上高は 15,554,853千円 (前事業年度比 0.6%減) となりましたが、広告宣伝費の減少によりセグメント利益は 2,392,673千円 (前事業年度比 6.8%増) となりました。

②不動産関連サービス事業

不動産関連サービス事業は、収益物件の取得等により、売上高は 1,548,260千円 (前事業年度比 33.5%増)、セグメント利益は 754,731千円 (前事業年度比 91.4%増) となりました。

(2) P.4 (2) 当期の財政状態の概況 (純資産)

【訂正前】

当事業年度末における純資産合計は 11,467,391 千円となり、前事業年度末に比べ 1,091,714 千円増加いたしました。これは主に当期純利益 1,207,201 千円の計上によるものです。

【訂正後】

当事業年度末における純資産合計は 11,467,391 千円となり、前事業年度末に比べ 1,091,714 千円増加いたしました。これは主に当期純利益 1,207,202 千円の計上によるものです。

(3) P.4 (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 (営業活動によるキャッシュ・フロー)

【訂正前】

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは 6,628,548 千円の支出 (前事業年度 1,628,890 千円の収入) となりました。これは主に税引前当期純利益 2,127 千円の増加及び法人税等の支払額 21,679 千円、棚卸資産 7,267,004 千円の増加と利息の支払額 246,363 千円によるものです。

【訂正後】

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは 6,628,548 千円の支出 (前事業年度 1,628,890 千円の収入) となりました。これは主に税引前当期純利益 2,127 千円の増加及び法人税等の支払額 21,679 千円、棚卸資産 6,773,447 千円の増加と利息の支払額 246,363 千円によるものです。

(4) P.4 当期のキャッシュ・フローの概況 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

【訂正前】

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは 6,275,899 千円の収入 (前事業年度 4,061,821 千円の支出) となりました。これは主に長期借入金の借入による収入 9,396,010 千円、長期借入金の返済による支出 6,452,456 千円によるものです。

【訂正後】

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは 6,275,898 千円の収入 (前事業年度 4,061,821 千円の支出) となりました。これは主に長期借入金の借入による収入 9,396,010 千円、長期借入金の返済による支出 6,452,456 千円によるものです。

(5) P.8 キャッシュ・フロー計算書

	【訂正前】	【訂正後】 (単位：千円)
	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,960,452	1,960,452
減価償却費	10,020	10,020
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,257	△1,257
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△157	△157
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,480	4,480
受取利息及び受取配当金	△197	△197
保険解約返戻金	-	-
投資有価証券評価損	4,999	4,999
支払利息	249,595	244,594
支払手数料	-	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,796	△24,796
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,267,004	△6,773,447
仕入債務の増減額 (△は減少)	△603,106	△603,106
その他	△95,910	△95,910
小計	△5,274,326	△5,274,326
利息及び配当金の受取額	197	197
利息の支払額	△246,363	△246,363
保険解約返戻金の受取額	-	-
法人税等の支払額	△1,108,055	△1,108,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,628,548	△6,628,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900,201	△900,201
定期預金の払戻による収入	855,973	855,973
無形固定資産の取得による支出	-	-
関係会社株式の取得による支出	-	-
その他	△21,011	△21,011
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,238	△65,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,492,833	3,492,833
長期借入れによる収入	9,396,010	9,396,010
長期借入金の返済による支出	△6,452,456	△6,452,456
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
配当金の支払額	△120,487	△120,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,275,898	6,275,898
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△417,888	△417,888
現金及び現金同等物の期首残高	1,985,785	1,985,785
現金及び現金同等物の期末残高	1,567,897	1,567,897

(6) P.9 セグメント情報

【訂正前】

当事業年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	不動産開発事業	不動産関連 サービス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	<u>15,553,221</u>	<u>396,958</u>	<u>17,103,113</u>	-	<u>17,103,113</u>
その他の収益	-	1,152,933	<u>二</u>	-	<u>二</u>
外部顧客に対する売上高	<u>15,553,221</u>	<u>1,549,892</u>	17,103,113	-	17,103,113
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	<u>15,553,221</u>	<u>1,549,891</u>	17,103,113	-	17,103,113
セグメント利益	2,392,673	754,731	3,147,405	△1,305,601	1,841,803
セグメント資産	26,700,330	217,138	26,917,469	4,234,618	31,152,087
その他の項目					
減価償却費	<u>627</u>	2,820	<u>3,447</u>	<u>6,673</u>	<u>10,020</u>
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	-	-	-	-	-

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,308,358千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額4,234,618千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金等）及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額6,673千円は、管理部門の資産に係るものであります。
2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【訂正後】

当事業年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	不動産開発事業	不動産関連 サービス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	<u>15,554,853</u>	<u>395,326</u>	<u>15,950,180</u>	-	<u>15,950,180</u>
その他の収益	-	1,152,933	<u>1,152,933</u>	-	<u>1,152,933</u>
外部顧客に対する売上高	<u>15,554,853</u>	<u>1,548,260</u>	17,103,113	-	17,103,113
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	<u>15,554,853</u>	<u>1,548,260</u>	17,103,113	-	17,103,113
セグメント利益	2,392,673	754,731	3,147,405	△1,305,601	1,841,803
セグメント資産	26,700,330	217,138	26,917,469	4,234,618	31,152,087
その他の項目					
減価償却費	<u>2,420</u>	2,820	<u>5,420</u>	<u>4,779</u>	<u>10,020</u>
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	-	-	-	-	-

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,305,601千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額4,234,618千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金等）及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額4,779千円は、管理部門の資産に係るものであります。
2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

以上